

【NEWS RELEASE】

2025年4月10日

各 位

株式会社三井住友銀行

次世代バイオディーゼル燃料の活用による脱炭素の取組について

株式会社三井住友銀行（頭取CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）は、脱炭素の取組の一環として、次世代バイオディーゼル燃料である株式会社ユーグレナの「サステオ（※1）」を燃料として、マツダ株式会社のクリーンディーゼル車「CX-80」を社用車に導入したことをお知らせいたします。なお、次世代バイオディーゼル燃料の社用車での利用は、メガバンク初の取組となります。

三井住友銀行は、社用車の脱炭素の取組としてEVや燃料電池車の導入を進めていますが、今回の取組では、脱炭素手法の新たな選択肢として、軽油代替燃料として即時使用が可能なことや比較的高い脱炭素効果が期待できること等から、次世代バイオディーゼル燃料を導入しました。

また、近年重要度が増している災害時のBCPの観点からも、ディーゼル燃料はガソリンに比べ運搬や保管が容易なことから有意義な取組と考えています。

尚、「サステオ」はおもにB to Bでの流通になるため、三井住友銀行の東館に設置した専用給油機へ輸送業者が燃料を補給し、給油機からセルフで給油する仕組みとしています。

本取組を通じて、車両燃料におけるカーボンニュートラルが進むことを期待しております。

三井住友銀行は脱炭素社会への移行と実現のため、積極的にサステナビリティ実現に貢献してまいります。



※1：サステオ

食料との競合や森林破壊といった環境問題を起こさない持続可能性に優れたバイオマス原料を使用した次世代バイオディーゼル燃料。今回使用する燃料は、バイオ燃料である HVO (Hydrotreated Vegetable Oil：水素化植物油) 51%の混合品で、CO2削減効果は燃料燃焼時に排出する CO2 の過半(約51%)を削減。また、軽油規格に適合している為、軽油と同等に使用することが可能で設備投資等をせずとも脱炭素効果が期待できる。

以 上